

全日本アーチェリー連盟 競技規則 2022-2023年 新旧対比表

条	項		2022～2023年版(改正前)(旧)	2023年3月2日 改正施行(新)
206	2	(3)	<p>用具故障、医学的問題による特別時間は与えられない。しかし、用具の故障があった競技者は、制限時間の範囲内で、シューティングラインを離れて修理または交換を行い、戻って残りの矢を行射することができる。団体戦では、その間に、そのチームの他のメンバーが行射することができる。</p>	<p>競技会中(予選ラウンドの間)審判員によって確認された用具故障、医師等によって確認された医学的な問題が発生した場合、修理、交換、快復に必要な特別時間が与えられる。</p> <p>医学的問題については、競技者が競技を続けるかどうかを医師等が判断する。</p> <p>ただし、補充矢を行射する時間は最大15分(通常の行射手順および行射時間による)もしくは、エンド数でアウトドアでは6本の2エンド、インドアでは3本の3エンドとし、どちらかの方法で行う。</p> <p>競技者は、最も早い機会に所定の本数を審判員立ち会いのもとで行射する。</p> <p>なお、ワールドランキングイベント、あるいは、海外総合競技大会においては、用具故障、医学的問題による特別時間は与えられない。</p>
		(4)		<p>【新規追加】</p> <p>オリンピックラウンドのイリミネーションラウンドおよびファイナルラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ベアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドでは用具故障、医学的問題による特別時間は与えられない。</p> <p>しかし、用具の故障があった競技者は、制限時間の範囲内で、シューティングラインを離れて修理または交換を行い、戻って残りの矢を行射することができる。</p> <p>団体戦では、その間に、そのチームの他のメンバーが行射することができる。</p> <p>(以降を繰り下げ)</p>

条	項	2022～2023年版(改正前)(旧)	2023年3月2日 改正施行(新)
207	3	<p>(1) a 本連盟主催の競技会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 交互射ちの個人戦、団体戦及びミックス戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき20秒とする。</li> <li>ii 予選ラウンド、交互射ちではないオリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ベアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドにおける個人戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき30秒とする。</li> <li>iii パラアーチェリーラウンドにおいては、上記いずれの場合にも1射につき10秒加算する。</li> </ul> <p>b その他のすべての競技会 2023年3月1日までは下記の通りとする。それ以降については、改めて通達する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 交互射ちの個人戦、団体戦及びミックス戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき20秒(パラアーチェリーでは30秒)とする。</li> <li>ii 予選ラウンド、交互射ちではないオリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ベアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドにおける個人戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき40秒とする。 ただし、要項等にあらかじめ記載することによって1射につき30秒とすることもできる。</li> </ul>	<p><del>a 本連盟主催の競技会</del></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 交互射ちの個人戦、団体戦及びミックス戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき20秒とする。</li> <li>ii 予選ラウンド、交互射ちではないオリンピックラウンド、コンパウンドマッチラウンド、ベアボウマッチラウンドおよびインドアマッチラウンドにおける個人戦の場合は、シュートオフも含めて、1射につき30秒とする。 <u>ただし、要項等にあらかじめ記載することによって1射につき40秒とすることができる。</u></li> <li>iii <u>パラアーチェリーの個人戦</u>においては、<u>上記いずれの場合にも</u>1射につき10秒加算する。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【削除】</b></p>

条	項	2022～2023年版(改正前)(旧)	2023年3月2日 改正施行(新)
217	1	(2) 競技中は、女子はワンピース、スカート、キュロットスカート、ショートパンツ(競技者が腕を体側に沿って垂らして指を伸ばしたとき指先より短くてはならない)、パンツ、およびシャツ(両肩からそれぞれ体の前面と背中がカバーされ、フルドローの際、上半身を覆うもの)を着用する。	競技者はワンピース、スカート、キュロットスカート、ショートパンツ(競技者が腕を体側に沿って垂らして指を伸ばしたとき指先より短くてはならない)、 <b>パンツを着用する。</b> <b>また、長袖あるいは半袖</b> シャツ(両肩からそれぞれ体の前面と背中がカバーされ、フルドローの際、上半身を覆うもの)を着用する。
		(3) 男子は、パンツまたはショートパンツ(競技者が腕を体側に沿って垂らして指を伸ばしたとき指先より短くてはならない)、および長袖あるいは半袖シャツ(フルドローの際、上半身を覆うもの)を着用する。	<b>【削除】</b> <b>(以降を繰り上げ)</b>
329	3	(3) ミックス団体戦のシュートオフ a 得点による2射1エンド(各競技者1射)のシュートオフを行う。 b チームの競技者は交代して行射する。 c 同点の場合、チーム内で中心に最も近い矢で決定し、これも同じなら、2番目に中心に近い矢で決定する。 d 制限時間は、フィールドラウンドでは2分とし、3Dラウンドでは90秒とする。 e シュートオフは、対戦が行われていたコースで実施される。	ミックス団体戦のシュートオフ a 得点による2射1エンド(各競技者1射)のシュートオフを行う。 b チームの競技者は交代して行射する。 c 同点の場合、チーム内で中心に最も近い矢で決定し、これも同じなら、2番目に中心に近い矢で決定する。 d 制限時間は、フィールドラウンドでは <b>80秒</b> とし、3Dラウンドでは90秒とする。 e シュートオフは、対戦が行われていたコースで実施される。

全日本アーチェリー連盟 競技部  
2023年3月2日 改正